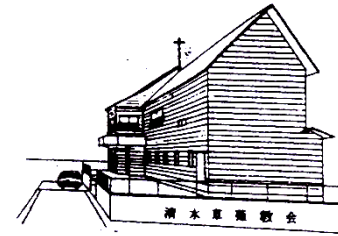


《CS夏のイベントから》

映画『ナルニア国物語』を見に行くのが上映時間の関係から遅くなってしまいましたが、生徒4人、大人5人で出かけることができました。出発する前に、短い時間でしたが、聖書を開く時間もありましたので、その聖書の箇所から学びましょう。箇所は旧約聖書、申命記の6：4以降です。シエマ・イスラエルという言葉で始まるこの箇所は、とても有名な箇所、キリスト教教育の原点とも言われています。学ぶことよりもまず“教えること、伝えること”が大切です、とっています。私達も、教会の果たすべき務めとして、教会が子供たちの教育にも、進んで関わろうとするのは、この聖書の箇所から出発しているともいえるでしょう。私達は日常、まず学ぶこと勉強することの大切さを力説しても、教えることから離れていることが多いのではないのでしょうか。もし、子供たちに、遊び方については十分に教えておいて“おまえは勉強しない”といても、勉強の仕方を教えなかったり、勉強する環境を作ってやらなかったほうが悪いのだ、といわれても仕方がないでしょう。聖書はまず“教えることの大切さ”を語ります。さらに私たちは日常、勉強というのは学ぶ方の子供たちが強くなるためだ、と思いがちですが、聖書は“つねにさいわいであり、また今日のように、主がわれわれを守って命を保たせるためである(6：24)”と教えています。まず、勉強する方の問題ではなく、勉強を教える者が幸いであることが目的なのだ、とっているのです。教会の幼児洗礼ではこのことがはっきりと示されます。“あなたがたは教えますか？”と証人全員に確認を求めるのはこのためです。私たちも子供たちに“このあかしと、定めと、おきてとは、なんのためですか？(6：20)”と聞かれたら、“知らない”と答えてはいけません。私たち自身が教えられ続けてきた者たちであることが必要なのです。ですから草薙教会の教会学校では、教師として“教えられて大きくなったことを思い出そうと考えることのできる”ことを、技巧や“教育法”といわれている内容のことよりも、はるかに重視しようとしているのです。先ず主が語られたことを聞いた私達は、次に語らなければならないのです。聞くということと、語り続けるということの大切さをもう一度、聖書から聞きましょう。

週報

2008年 7月 20日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル会の会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp